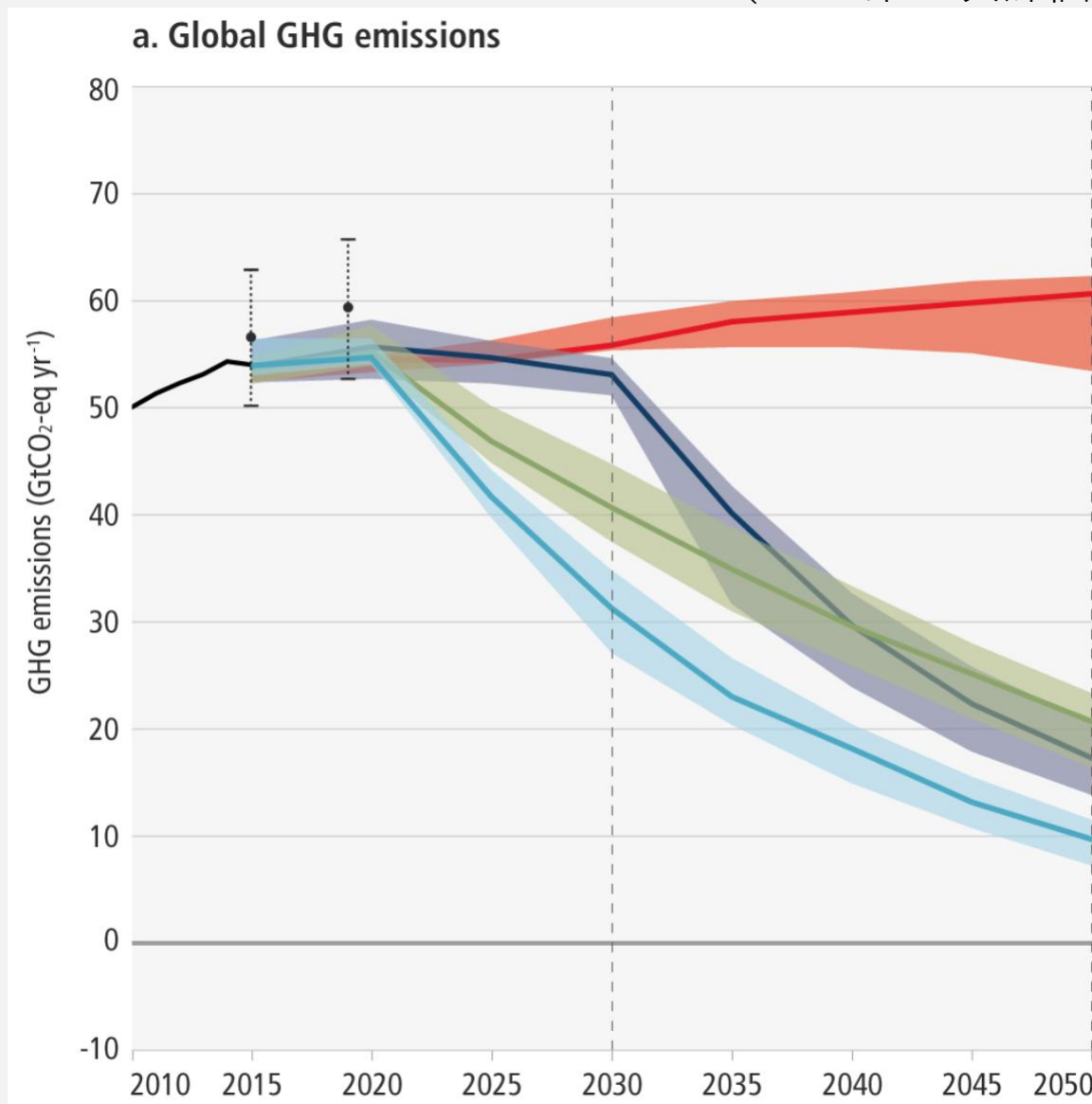


CO2排出シナリオは 御用科学だ

参考資料 <https://energy-forum.co.jp/online-content/21334/>

IPCC(2022) 世界の排出シナリオ

(IPCC第6次評価報告政策決定者向け要約 図4)



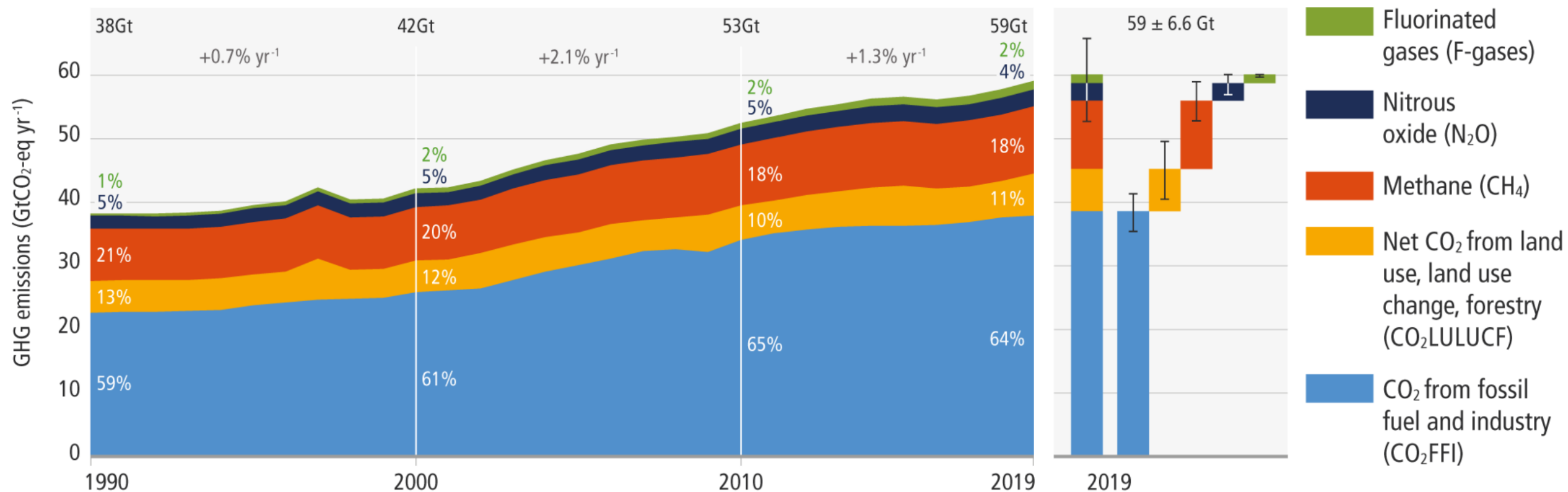
⇐2°Cシナリオ

⇐1.5°Cシナリオ

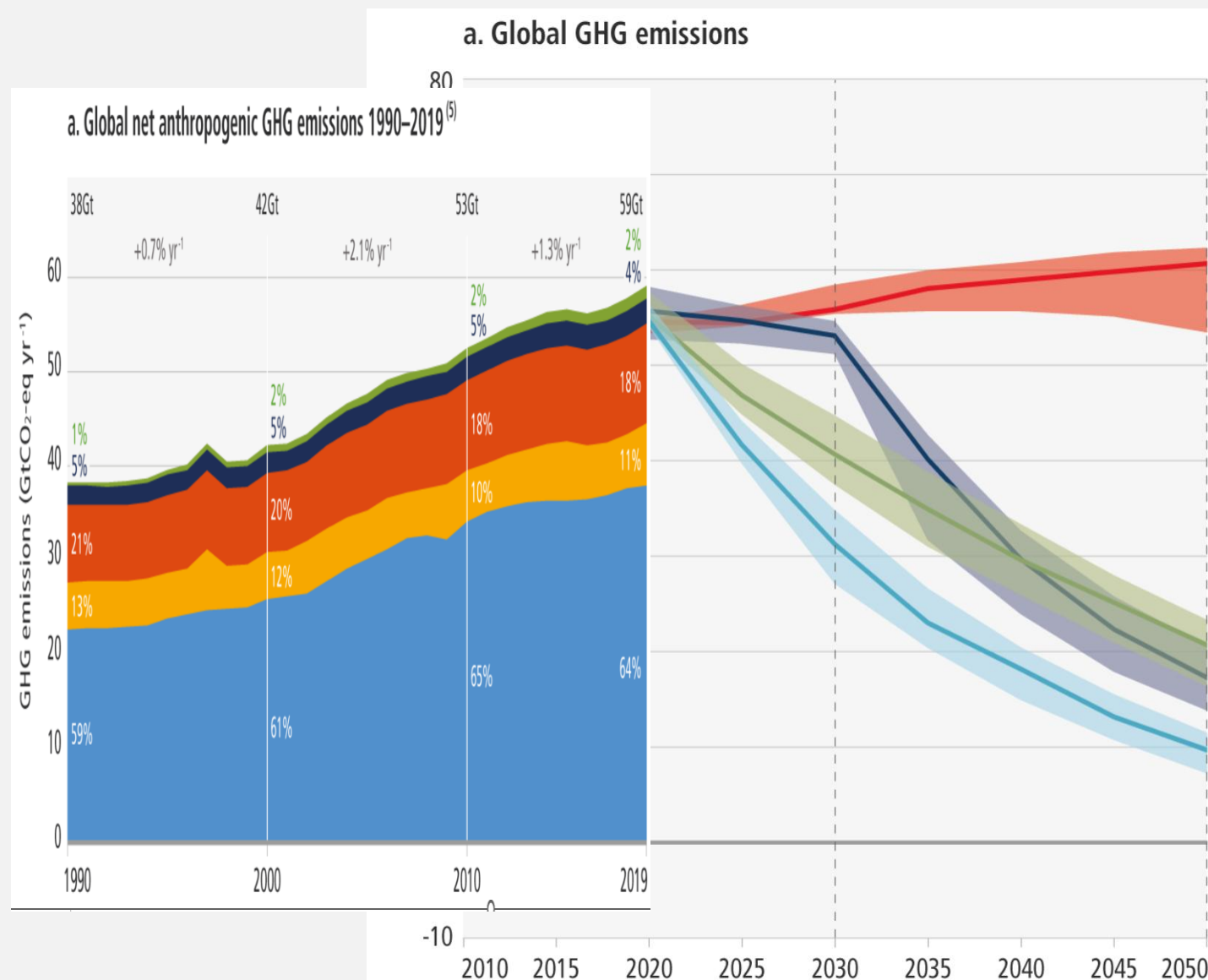
IPCC(2022) 排出実績

Global net anthropogenic emissions have continued to rise across all major groups of greenhouse gases.

a. Global net anthropogenic GHG emissions 1990–2019 ⁽⁵⁾



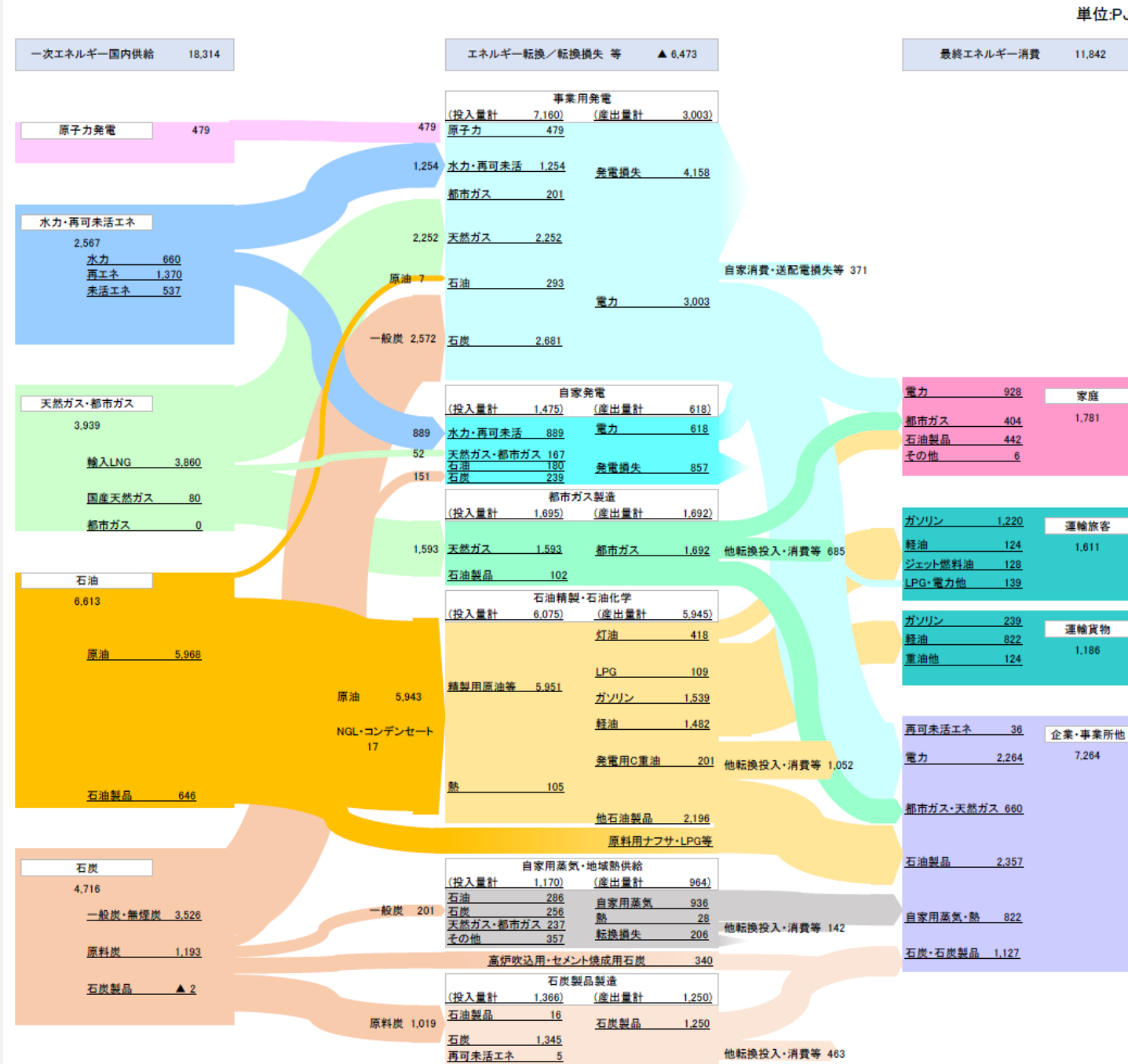
合わせると・・・目で不可能と分かる



⇐2°Cシナリオ

⇐1.5°Cシナリオ

【第211-1-3】日本のエネルギー・フロー概要(2022年度)



エネルギー 需給モデル

技術的・経済的な 実施可能性を検討

(エネルギー白書2024より)

2°Cシナリオの増殖

報告書	公表年	シナリオ 総数	2°C シナリオ数	割合
第4次報告	2007	177	6	3 %
第5次報告	2014	963	365	38 %
第6次報告	2022	1 202	700	58 %

実現不可能
2007



“多数”意見
2014

1.5°Cシナリオの出現

報告書	公表年	シナリオ 総数*	1.5 °C シナリオ数	割合
第4次報告	2007	177	0	0 %
第5次報告	2014	963	5	0.5 %
第6次報告	2022	3 131	139	4.4 %

実現不可能
2014



コストはGDPの数%
2022

7

(IPCC第6次評価報告政策決定者向け要約 C.12)

2 °C & 1.5 °Cの政治年表

- 1996** EU が 2 °C 目標を採択。
- 2010** COP16 で 2 °C を採択、1.5 °C の検討を付帯。
- 2015** パリ協定「2 °C を十分下回り、1.5 °C を追求する」合意。
IPCC に『1.5 °C 報告書』を要請。
- 2018** IPCC『1.5 °C 報告書』を公表。
- 2021** COP26 グラスゴー合意で各国に「1.5 °C に整合すること」を要請。G7 諸国は 1.5 °C と整合するためとして 2050 年排出ゼロを宣言。

ストーリーライン(物語)に基いた科学

理念： 科学に基いた政治

科学的知見 ⇒ 政治決定

現実： 政治に基いた科学

政治の要請(気候危機物語) ⇒ 御用科学 ⇒ 政治利用

「科学」に基けば、 2°C & 1.5°C は実現不可能だった。だが「政治」の要請に「御用科学」が答えた。 2°C & 1.5°C シナリオは数が増えた。結論も180度変わった。同一人物で10年前と今で全く言う事が違う。学者ほど信用できない人種はいない。



<https://www.amazon.co.jp/dp/4485301257/>